平成２８年度　システム創生学科　学部講義　No.03-84451

システム工学基礎（担当：青山和浩）

フィードバック　兼　出席確認票（5月10日）

注：空欄が多いと講義に参加していないと考えますので 記入には十分に注意してください.記入したものを撮影, デジタル化し, ITC-LMSへアップする. 自分のノート, メモでも代用可能とするが, その旨を確認票に明記し, あわせてアップすること

|  |  |  |  |  |  |
| --- | --- | --- | --- | --- | --- |
| コース | SDM | 学籍番号 | 03-160946 | 氏名 | 西村弘平 |
| ①理解できた内容, ②理解できなかった内容, ③興味を持った内容, ④感想, ⑤要望 | | | | | |
| ①理解できた内容:dematel法によって要素間の関係の強さを表現する手法を理解しました。 | | | | | |
| ②理解できなかった内容:ISM法、Dematel法によってモデルを作成する中で要素をどのようにして選ぶのか、要素の数をどのように選ぶことで漏れ無く実際の問題を説明することができるのかがまだ理解できていません。 | | | | | |
| ③興味をもった内容:因果ループを用いた実際の問題の説明の仕方。レポート課題を通してISM法を用いた構造化の手法を学んだが、各要素間の関係の強さを評価する手法に興味をもちました。 | | | | | |
| ④感想:多くの実行例の紹介やどのような現場で使われているかの説明があり、学習する目的と意図が理解しやすかったです。 | | | | | |
| ⑤要望:特にありません。 | | | | | |
| 回答欄：自分の考えた因果ループの例を以下に記します。  必需品に対する購入サイクル図  s  新商品発売  R  s  s  s  s  流行に従うために買う人が出てくる  その商品を買うことが流行に  新商品の技術・利便性により購入者増加  時間がたち、人気が落ち、購入者も減ってくる | | | | | |

□裏面へつづく